

< 別紙 2 >

公益財団法人 NEC C&C 財団の活動概要

NEC C&C 財団は、C&C 技術分野、即ち情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術およびこれらの融合する技術分野における開拓又は研究に対する奨励および助成活動を通じて、世界のエレクトロニクス産業の一層の発展を図り、経済社会の進展と社会生活の向上に寄与することを目的として、1985 年(昭和 60 年)3 月に設立された財団法人であり、その基金は NEC からの寄付金に依っています。

この目的を果たすための活動として、現在、顕彰事業を行っています。

まず、顕彰事業としては、C&C 分野の開拓・研究、あるいはこの分野の社会科学的研究活動に関し顕著な貢献のあった個人またはチームに対して、C&C 賞を贈呈しています。顕彰は原則として毎年 1 回 2 件以内とし、候補者は国内外から広く推薦をいただいております。各受賞者には、賞状、賞牌、賞金(1 件当たり 1 千万円)が贈呈されます。今回を含め 50 年間に 83 グループ、129 名および 2 チームが受賞し、内訳は、外国の方 73 名および 1 チーム、日本の方が 56 名および 1 チームとなっています。

以上